

2026年度 保育士等キャリアアップ研修

受講のご案内 – 対象ページ目次 –

【ご案内】

本パンフレットは、ご勤務されている施設の所在地によって対象となるページが異なります。
以下の目次をご参照の上、ご自身の対象ページをご確認ください。

全国版

東京都以外の施設にお勤めの方

対象ページ

P.2 - P.3

日本全国どちらにお勤めの方も受講可能な、完全オンデマンド研修のご案内です。

- 全国版 研修概要 (P.2)
- 全国版 研修カリキュラム (P.3)

東京都版

東京都の施設にお勤めの方

対象ページ

P.4 - P.5

東京都の施設にお勤めの方（受講料免除対象者）向けの研修のご案内です。

- 東京都版 研修概要 (P.4)
- 東京都版 研修カリキュラム (P.5)

保育士等キャリアアップ研修のご案内

日本全国どちらに
お勤めの方も受講可能、
修了証も全国有効！

すべてオンデマンド研修！
好きな時にいつでも
受講できます！

一流の講師陣による
充実の研修内容を
お届けします！

幼稚園・認定こども園に
お勤めの方のご受講も
おすすめです！

万全のサポートで
お申し込みから修了証の
受け取りまでスムーズ！

研修分野（8分野）

【専門分野別研修】①乳児保育 ②幼児教育 ③障害児保育 ④食育・アレルギー対応
⑤保健衛生・安全対策 ⑥保護者支援・子育て支援 【マネジメント研修】【保育実践研修】

※ 幼稚園様・認定こども園様も1分野につき15時間分が処遇改善等加算の時間数に加算されます
※ 【マネジメント研修】は副主任保育士（中核リーダー）以外の方は処遇改善等加算対象外となりますのでご注意ください
※ 幼稚園様の場合、「乳児保育」分野は処遇改善等加算対象外となりますのでご注意ください。詳細は各自治体へお問い合わせください

申込期間

2027年3月20日（土）まで

受講期間

4月1日（水）～ 2027年3月22日（月・祝日）

受講料

1分野（15時間） 税込16,500円（おひとり様）
※4月1日以降はご入金確認後、すぐにご受講いただけます

受講の流れ

詳細は「一般社団法人フレーベル子育てラボ」ホームページをご覧ください。

1. フレーベル子育てラボHPから勤務先の
都道府県を選択し、申込ページ内容を確認
2. 希望の分野の研修をお申し込み
※お申し込みには研修システム「manaable（マナブル）」へのご登録が必要です
3. 受講料のお支払い（銀行振込・コンビニ決済・クレジットカード決済）
※お申し込み日から7日以内にお支払いをお願いいたします
4. 研修スタート（研修動画視聴、レポート提出）
5. 修了証発行（レポート内容を確認後、修了証発行 ※PDFダウンロードが可能）
修了証発行日：分野内すべてのレポート提出完了月の翌月末に修了証発行
（例：4月中に受講修了⇒5月末に修了証発行）
※3月は、3月22日までにすべてのレポート提出完了
⇒4月15日までに修了証発行予定（修了証の日付は3月22日）
◎修了証及び資料の印刷・郵送を有償にて承っております。
ご希望の方は右記、二次元コードよりお申し込みください。



フレーベル子育てラボ
ホームページ



資料のダウンロード方法

研修詳細ページより「受講する」をクリック→
「セミナー概要」に青字で表示されているテキスト
をクリック

修了証のダウンロード方法

- ①manaableのマイページにログイン
- ②ホームの自分の研修をクリック
- ③該当の研修名をクリックし研修詳細画面へ
- ④「申込内容の確認」ボタンをクリック
- ⑤「申込内容の確認」画面下部に修了証URLが表示されておりますので、コピーしてください
- ⑥ブラウザのアドレスバー（検索欄）にURLを貼り付け、キーボードの「Enter」キーを押してください
- ⑦修了証が表示されますので、画面上のメニューよりダウンロードや印刷が可能です

<お申し込み・お問い合わせについて>

株式会社フレーベル館は、一般社団法人フレーベル子育てラボから研修委託を受けています。
研修実績が豊富なフレーベル館の研修システムを使用していますので、サポート体制も万全です！
保育士等キャリアアップ研修の受講に関するお問い合わせはフレーベル館セミナー事務局へ、指定に関するお問い合わせはフレーベル子育てラボ事務局へお問い合わせください。

【研修指定機関】



一般社団法人
フレーベル子育てラボ
事務局 メール：seminar@kosodachi-lab.or.jp
電話：03-5395-6618

【研修委託先】



セミナー事務局 メール：seminar@froebel-kan.co.jp
電話：03-5395-6637

2026年度は、各種分野の法改正に対応したカリキュラムをお届け！
実績豊富な一流の講師陣による、充実した研修カリキュラムをご案内いたします！

※株式会社フレーベル館の研修システムを使った「保育士等キャリアアップ研修」のご案内です。2026年2月時点での予定です。一部変更になる可能性があります。

分野	ねらい	研修講師（所属・氏名）
乳児保育	乳児保育に関する理解を深め、適切な環境を構成し、個々の子どもの発達の状態に応じた保育を行う力を養い、他の保育士等に乳児保育に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。	乳幼児教育実践研究家 井桁容子 先生 東京家政大学教授 野口隆子 先生 東京家政大学教授 保坂 遼 先生 東京家政学院大学教授 和田美香 先生 川村学園女子大学教授 菅井洋子 先生 鎌倉女子大学短期大学部教授 實川雅子 先生 鎌倉女子大学准教授 浅井拓久也 先生
		井桁容子 先生 野口隆子 先生 保坂 遼 先生 和田美香 先生 菅井洋子 先生 實川雅子 先生 浅井拓久也 先生
幼児教育	幼児教育に関する理解を深め、適切な環境を構成し、個々の子どもの発達の状態に応じた幼児教育を行う力を養い、他の保育士等に幼児教育に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。	白梅学園大学名誉教授 無藤 隆 先生 お茶の水女子大学寄附講座教授 宮里曉美 先生 大阪総合保育大学学長 大方美香 先生 明治学院大学教授 松崎洋子 先生 千葉大学教授 砂上史子 先生 玉川大学教授 田澤里喜 先生 共立女子大学教授 田代幸代 先生 國學院大學教授 吉永安里 先生 同志社女子大学特任教授 笠間浩幸 先生 白梅学園大学准教授 宮田まり子 先生
		無藤 隆 先生 宮里曉美 先生 大方美香 先生 松崎洋子 先生 砂上史子 先生 田澤里喜 先生 田代幸代 先生 吉永安里 先生 笠間浩幸 先生 宮田まり子 先生
障害児保育	障害児保育に関する理解を深め、適切な障害児保育を計画し、個々の子どもの発達の状態に応じた障害児保育を行う力を養い、他の保育士等に障害児保育に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。	東京大学大学院教授 遠藤利彦 先生 渋谷区子ども発達相談センターチーフアドバイザー 市川奈緒子 先生 白梅学園大学教授 仲本美央 先生 星槎大学大学院教授 阿部利彦 先生 明星大学教授 星山麻木 先生 共立女子大学教授 広瀬由紀 先生 香川大学准教授 松井剛太 先生 株式会社ここん代表取締役・作業療法士 定金雅子 先生
		遠藤利彦 先生 市川奈緒子 先生 仲本美央 先生 阿部利彦 先生 星山麻木 先生 広瀬由紀 先生 松井剛太 先生 定金雅子 先生
食育・ アレルギー対応	食育に関する理解を深め、適切に食育計画の作成と活用ができる力を養う。アレルギー対応に関する理解を深め、適切にアレルギー対応を行うことができる力を養う。他の保育士等に食育・アレルギー対応に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。	白梅学園大学教授 林 薫 先生 医療法人仁寿会菊池医院管理栄養士 長谷川実穂 先生 神奈川歯科大学歯学部特任教授 木本茂成 先生 聖徳大学教授 蔵川摩有 先生 和洋女子大学助教 池谷真梨子 先生
		◎令和7年9月策定 「児童福祉施設等における 食事の提供ガイド」 対応 林 薫 先生 長谷川実穂 先生 木本茂成 先生 蔵川摩有 先生 池谷真梨子 先生
保健衛生・ 安全対策	保健衛生に関する理解を深め、適切に保健計画の作成と活用ができる力を養う。安全対策に関する理解を深め、適切な対策を講じることができる力を養う。他の保育士等に保健衛生・安全対策に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。	白梅学園大学名誉教授・小児科医 小林美由紀 先生 佐久総合病院佐久医療センター小児科医長 坂本昌彦 先生 大阪教育大学教授 小崎恭弘 先生 駒沢女子短期大学教授 猪熊弘子 先生 東京未来大学専任講師 鳥海弘子 先生 NPO法人Safe Kids Japan 大野美喜子 先生
		◎令和7年10月施行 「保育所等の職員による 虐待に関する通報義務 等について」対応 小林美由紀 先生 坂本昌彦 先生 小崎恭弘 先生 猪熊弘子 先生 鳥海弘子 先生 大野美喜子 先生
保護者支援・ 子育て支援	保護者支援・子育て支援に関する理解を深め、適切な支援を行うことができる力を養い、他の保育士等に保護者支援・子育て支援に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。	武庫川女子大学教授 倉石哲也 先生 大阪教育大学教授 小崎恭弘 先生 東洋英和女学院大学教授 久保田まり 先生 鎌倉女子大学准教授 浅井拓久也 先生 東京未来大学准教授 西村実穂 先生 八王子保育専門学院専任講師 田尻さやか 先生
		倉石哲也 先生 小崎恭弘 先生 久保田まり 先生 浅井拓久也 先生 西村実穂 先生 田尻さやか 先生
マネジメント	主任保育士の下でミドルリーダーの役割を担う立場に求められる役割と知識を理解し、自園の円滑な運営と保育の質を高めるために必要なマネジメント・リーダーシップの能力を身に付ける。	学校法人柿沼学園理事長 柿沼平太郎 先生 木元有香法律事務所代表弁護士・保育教諭 木元有香 先生 洗足こども短期大学教授 井上眞理子 先生 白梅学園大学教授 師岡 章 先生 特定非営利活動法人親子コミュニケーションラボ代表理事 天野ひかり 先生 株式会社リール代表 孫 ちよんす 先生 園のコンサルタント・特定社会保険労務士 安岡知子 先生 株式会社ビスタ代表取締役 細萱大祐 先生 セルフケア・ラーニング代表 中里弘樹 先生 株式会社鳥飼コンサルティンググループ取締役 鳥飼胆識 先生 鎌倉女子大学准教授 浅井拓久也 先生 東京立正短期大学准教授 鈴木健史 先生
		◎令和8年12月施行予定 「こども性暴力防止法」 対応 柿沼平太郎 先生 木元有香 先生 井上眞理子 先生 師岡 章 先生 天野ひかり 先生 孫 ちよんす 先生 安岡知子 先生 細萱大祐 先生 中里弘樹 先生 鳥飼胆識 先生 浅井拓久也 先生 鈴木健史 先生

※【保育実践研修】も開催しておりますが、処遇改善等加算の要件とはされていません。内容の詳細は、フレーベル子育てラボホームページをご覧ください。

保育士等キャリアアップ研修カリキュラム2026

全国どこからでも好きな時に受講できる、便利なオンデマンド研修！
実績豊富な一流の講師陣による充実したカリキュラムです！

乳児保育

(分)				
	研修項目	タイトル	研修講師 (所属・職・氏名)	研修 時間
1	乳児保育の意義	乳児保育の意義	東京家政学院大学教授 和田美香	75
2	乳児保育の環境	0・1・2歳児の感性を育む 楽しい造形あそび	東京家政大学教授 保坂 遊	90
3	乳児保育の環境	乳児の保育実践(環境について)	乳幼児教育実践研究家 井桁谷子	45
4	乳児保育の環境	乳児の生活と遊び ～育ちを支える環境・かかわり～	東京家政学院大学教授 和田美香	75
5	乳児保育の環境	乳児保育の環境づくり	東京家政大学教授 野口隆子	80
6	乳児への適切な関わり	乳児の保育実践 (人との関わりについて)	乳幼児教育実践研究家 井桁谷子	45
7	乳児への適切な関わり	主体性を育む 低年齢児の保育	鎌倉女子大学短期大学部教授 賀川雅子	95
8	乳児への適切な関わり	0・1・2歳児の保育のきほん2 ～こころの育ち編～	乳幼児教育実践研究家 井桁谷子	90
9	乳児の発達に応じた 保育内容	乳児の発達を踏まえた関わり方	鎌倉女子大学准教授 浅井拓久也	80
10	乳児の発達に応じた 保育内容	乳児の発達に応じた保育内容	東京家政学院大学教授 和田美香	75
11	乳児の発達に応じた 保育内容	乳児保育における「言葉」 ～多様な人や物と関わりながら 育む言葉～	川村学院女子大学教授 菅井洋子	75
12	乳児保育の指導計画、 記録及び評価	乳児保育の指導計画、 記録及び評価	東京家政学院大学教授 和田美香	75

幼児教育

(分)				
	研修項目	タイトル	研修講師 (所属・職・氏名)	研修 時間
1	幼児教育の意義	子ども主体の保育について ～子ども理解の視点より考える～	大阪総合保育大学学長 大方美香	95
2	幼児教育の環境	探究を引き出す場づくり	お茶の水女子大学寄附講座 教授 宮里曉美	100
3	幼児教育の環境	子どもの遊びが深まる 環境構成について	白梅学園大学准教授 宮田まり子	75
4	幼児教育の環境	砂遊びから見る子どもの 発達と保育環境	同志社女子大学特任教授 笠間浩幸	95
5	幼児教育の環境	子どもが「やってみたい」と思える 環境とは？～遊び込める環境を保 障するために～	明治学院大学教授 松寄洋子	85
6	幼児の発達に応じた 保育内容	遊びとこどもの育ち	玉川大学教授 田澤里喜	85
7	幼児の発達に応じた 保育内容	遊びの重要性と子どもの仲間関係 ～「おんなじ」を通して考える～	千葉大学教授 砂上史子	80
8	幼児教育の指導計画、 記録及び評価	保育記録の書き方・生かし方 ～質の高い保育実践のために～	共立女子大学教授 田代幸代	75
9	小学校との接続	実践事例から読み解く！幼児教育 から小学校教育へのつながり ～あそびのなかから生まれる学びとは～	國学院大学教授 吉永安里	80
10	小学校との接続	安心と挑戦の循環を園から学校へ ～幼保小の接続・架け橋を通してわ くわくする園と学校を実現する～	白梅学園大学名誉教授 無藤 隆	140

保健衛生・安全対策

(分)				
	研修項目	タイトル	研修講師 (所属・職・氏名)	研修 時間
1	保健計画の作成と活用	保健計画の作成と活用	東京未来大学専任講師 島海弘子	90
2	事故防止及び 健康安全管理	いまこそ求められる災害に強い園 ～地震・津波・水害～	駒沢女子短期大学教授 猪熊弘子	75
3	事故防止及び 健康安全管理	いまこそ求められる災害に強い園 ～そのときどう動くか？どのように備えるか？～	駒沢女子短期大学教授 猪熊弘子	75
4	事故防止及び 健康安全管理	子ども主体の保育と安全 ～幼児教育・保育でいちばん大切なこ とは子どもの命を守ることに～	駒沢女子短期大学教授 猪熊弘子	20
5	事故防止及び 健康安全管理	子ども主体の保育と安全 ～死亡事故・重大事故を防ぐために、も う一度基本に立ち返ろう～	駒沢女子短期大学教授 猪熊弘子	50
6	事故防止及び 健康安全管理	子ども主体の保育と安全 ～大きなケガはどこで起きている？～治 療に3日以上かかるケガ等への対応～	駒沢女子短期大学教授 猪熊弘子	20
7	事故防止及び 健康安全管理	子ども主体の保育と安全 ～「組織」で事故を防ぐ！職員自ら考え、 動く、動ける職場に！～	駒沢女子短期大学教授 猪熊弘子	30
8	事故防止及び 健康安全管理	小児科の先生に学ぶ、知っておくべ き子どもに対する応急処置と予防 ～怪我・病気・事故～	佐久総合病院佐久医療 センター小児科医長 坂本昌彦	90
9	事故防止及び 健康安全管理	子どもの急変時の対応のポイント	白梅学園大学名誉教授・ 小児科医 小林美由紀	80
10	事故防止及び 健康安全管理	安全な保育園は未来への架け橋	NPO法人 Safe Kids Japan 大野美喜子	45
11	保育所における 感染症対策ガイドライン	園における感染症対策ガイドライン	東京未来大学専任講師 島海弘子	90
12	保育の場において血液を介して感染する病気を 防止するためのガイドライン	保育の場において血液を介して感染す る病気を防止するためのガイドライン	東京未来大学専任講師 島海弘子	90
13	教育・保育施設等における事故防止及び事故 発生時の対応のためのガイドライン	子ども主体の保育と安全 ～「死を抱い た保育」～失火の事例から考える～	駒沢女子短期大学教授 猪熊弘子	30
14	教育・保育施設等における事故防止及び事故 発生時の対応のためのガイドライン	子ども主体の保育と安全 ～安全な保育をするための具体的な方法～	駒沢女子短期大学教授 猪熊弘子	35
15	教育・保育施設等における事故防止及び事故 発生時の対応のためのガイドライン	保育所等の職員による虐待に関する 通報義務等について	大阪教育大学教授 小崎泰弘	90

保護者支援・子育て支援

(分)				
	研修項目	タイトル	研修講師 (所属・職・氏名)	研修 時間
1	保護者支援・ 子育て支援の意義	子育て支援の専門家としての 保育者のあり方	鎌倉女子大学准教授 浅井拓久也	80
2	保護者支援・ 子育て支援の意義	つながりをはぐくむ場づくり ～保護者支援・子育て支援～	八王子保育専門学院専任講師 田尻さやか	75
3	保護者支援・ 子育て支援の意義	いまどきの保護者対応 ～背景の理解と支援の本質～	武庫川女子大学教授 倉石哲也	90
4	保護者に対する 相談援助	保護者対応の質を高める考え方・ 行動	鎌倉女子大学准教授 浅井拓久也	75
5	保護者に対する 相談援助	明日からすぐに使える 保護者との 信頼関係を築く連絡帳の書き方	鎌倉女子大学准教授 浅井拓久也	75
6	保護者に対する 相談援助	保護者は保育に、保護者は子育て に自信をもてるようになるドキュメン テーションの作り方・使い方	鎌倉女子大学准教授 浅井拓久也	75
7	地域における 子育て支援	今求められている子育て支援 ～これからの子育て支援～	大阪教育大学教授 小崎泰弘	75
8	地域における 子育て支援	子育て支援につながる 子どもの発達に即した関わり方	鎌倉女子大学准教授 浅井拓久也	75
9	虐待予防	虐待の事例分析と記録方法	鎌倉女子大学准教授 浅井拓久也	80
10	虐待予防	虐待・ネグレクトはなぜ起きる？ 苦しむ家庭を救うには	東洋英和女学院大学教授 久保田まり	70
11	関係機関との連携・ 地域資源の活用	配慮を必要とする保護者を支援する ポイント ～障害のある子育てる保護者・外 国籍の保護者などの多様な保護者～	東京未来大学准教授 西村実穂	70
12	関係機関との連携・ 地域資源の活用	子育て支援における地域資源の活用	鎌倉女子大学准教授 浅井拓久也	75

障害児保育

(分)				
	研修項目	タイトル	研修講師 (所属・職・氏名)	研修 時間
1	障害の理解	共生社会の担い手を育む保育へ ～インクルーシブな保育に向けて大切に したいと思えていきたい視点～	共立女子大学教授 広瀬由紀	75
2	障害の理解	紅色の特性理解と支援 ～発達の多様性を知り、尊重する～	明星大学教授 星山麻木	85
3	障害の理解	アタッチメントの個人差とその背景 ～正しい理解と保育者にできること～	東京大学大学院教授 遠藤利彦	90
4	障害児保育の環境	実践事例から読み解く、 子ども一人ひとりが輝く保育とは ～インクルーシブ保育がもたらす未来～	渋谷区子ども発達相談 センターチーフアドバイザー 市川奈緒子 白梅学園大学教授 仲本美央	85
5	障害児の発達の援助	発達障害のある子どもの理解と支援Ⅰ	星様大学大学院教授 阿部利彦	90
6	障害児の発達の援助	発達障害のある子どもの理解と支援Ⅱ	星様大学大学院教授 阿部利彦	105
7	障害児の発達の援助	多様なこどもたちを感覚統合の視点か ら理解する ～その子らしい参加を支える～	株式会社ここん代表取締役 ・作業療法士 定金雅子	90
8	家庭及び関係機関との 連携	特別支援教育の視点を活かした地域 の専門機関との連携および 個別の指 導計画の作成	星様大学大学院教授 阿部利彦	70
9	家庭及び関係機関との 連携	特別支援教育の視点を活かした地域・ 教育委員会・小学校などとの連携	星様大学大学院教授 阿部利彦	55
10	障害児保育の指導計画、 記録及び評価	インクルーシブな保育カリキュラム	星様大学大学院教授 阿部利彦	80
11	障害児保育の指導計画、 記録及び評価	多様な子どもたちとともに保育する～ 一人ひとりの学びを評価するには～	香川大学准教授 松井剛太	85

食育・アレルギー対応

(分)				
	研修項目	タイトル	研修講師 (所属・職・氏名)	研修 時間
1	栄養に関する基礎知識	栄養に関する基礎知識Ⅰ	和洋女子大学助教 池谷真梨子	90
2	栄養に関する基礎知識	栄養に関する基礎知識Ⅱ	和洋女子大学助教 池谷真梨子	100
3	食育計画の作成と活用	食育計画の作成と活用Ⅰ	和洋女子大学助教 池谷真梨子	80
4	食育計画の作成と活用	食育計画の作成と活用Ⅱ	和洋女子大学助教 池谷真梨子	90
5	食育計画の作成と活用	食事場面での保育者の関わり・環境構 成など	白梅学園大学教授 林 薫	65
6	食育計画の作成と活用	お口の発達から考える乳幼児の食事・ 心身の発達	神奈川歯科大学特任教授 木本茂成	80
7	食育計画の作成と活用	子どもたちの健やかな食生活と 育ちのために 乳児編	聖徳大学教授 越川摩有	80
8	食育計画の作成と活用	子どもたちの健やかな食生活と 育ちのために 幼児編	聖徳大学教授 越川摩有	80
9	アレルギー疾患の理解	アレルギー疾患の理解Ⅰ	医療法人仁寿会 菊池医院管理栄養士 長谷川実穂	50
10	アレルギー疾患の理解	アレルギー疾患の理解Ⅱ	医療法人仁寿会 菊池医院管理栄養士 長谷川実穂	65
11	保育所における食事の提 供ガイドライン	児童福祉施設等における 食事の提供ガイドのポイント	聖徳大学教授 越川摩有	60
12	保育所におけるアレルギー 対応ガイドライン	保育所におけるアレルギー対応 ガイドライン	医療法人仁寿会 菊池医院管理栄養士 長谷川実穂	75

マネジメント

(分)				
	研修項目	タイトル	研修講師 (所属・職・氏名)	研修 時間
1	マネジメントの理解	地域づくりの中心として園が担える 役割 ～多様化するニーズに応え多機能化する 保育施設～	学校法人柿沼学園理事長・ こども家庭庁「幼児期までの こどもの育ち部会」委員 柿沼平太郎	75
2	マネジメントの理解	現場で役立つ法的視点とリスクマネ ジメント	木元有香法律事務所代表弁 護士・保育教諭 木元有香	75
3	マネジメントの理解	気づきを共有し保育の質を高めるマ ネジメント	洗足こども短期大学教授 井上真理子	80
4	リーダーシップ	園での役割を踏まえたスキルアッ プ・マネジメントのあり方	白梅学園大学教授 師岡 章	75
5	リーダーシップ	職員同士の対話を促進する保育現 場のファシリテーション	東京立正短期大学准教授 鈴木健史	75
6	リーダーシップ	心に伝わるコミュニケーション ～子どもの主体性・大人同士のか わりを考える～	特定非営利活動法人 親子コミュニケーションラボ 代表理事 天野ひかり	75
7	組織目標の設定	保育者のための問題解決力	株式会社リール代表 孫 ちんす	80
8	人材育成	「こども性暴力防止法」施行前に 備える ～園が今から準備すべきポイント～	園のコンサルタント・特定社 会保険労務士 安岡知子 株式会社ビスタ代表取締役 細董大祐	90
9	人材育成	リーダーがすべきこと ～保育者育成10のポイント～	鎌倉女子大学准教授 浅井拓久也	75
10	働きやすい環境づくり	職員関係におけるセルフケアと対話 の技術 ～嫌な気持ちに対応する～	セルフケア・ラーニング代 表・精神保健福祉士・心理 カウンセラー 中里弘樹	70
11	働きやすい環境づくり	職員関係におけるセルフケアと対話 の技術 ～相手と対等に向き合う～	セルフケア・ラーニング代 表・精神保健福祉士・心理 カウンセラー 中里弘樹	70
12	働きやすい環境づくり	安心して働ける職場環境のためのハ ラスメント対策 ～予防から対策まで～	株式会社鳥飼コンサルティ ンググループ 取締役 鳥飼胆蔵	80

保育実践

(分)				
	研修項目	タイトル	研修講師 (所属・職・氏名)	研修 時間
1	保育における環境構成	子どもと共に創生する環境構成	淑徳大学准教授 桃枝智子	75
2	子どもとの関わり方	子ども理解のポイントと 指導援助実践	白梅学園大学教授 師岡 章	75
3	子どもとの関わり方	子どもをまんなかにした保育を実践 するために ～子どもに人生の忘れ物をさせてい ませんか？～	保育環境アドバイザー 井上さく子	75
4	身体を使った遊び	絵本から広がる運動遊び	東京女子体育大学講師 堀内亮輔	75
5	身体を使った遊び	豊かな感性と生きる力を育む体遊び と関わり方	公認心理師、こどもヨガバ ロジェクトWAPPY主宰 石田友美	75
6	言葉・音楽を使った遊び	子どもの心と能力を育む音楽教育 ～リトミック～	「ノリッソミュージック」主宰 金山貴子	75
7	言葉・音楽を使った遊び	わらべうたの世界に親しむ ～0～2歳向けのわらべうた遊び～	NPO法人表現教育研究所 代表理事 大沢 愛	75
8	言葉・音楽を使った遊び	わらべうたの世界に親しむ ～3～5歳向けのわらべうた遊び～	NPO法人表現教育研究所 代表理事 大沢 愛	70
9	言葉・音楽を使った遊び	あそび歌を通して考える ～子どもと一緒に創ることの面白さ～	日本児童教育専門学校 荒巻シャゲ	40
10	物を使った遊び	子どもの好奇心を育む わくわくと きどき科学遊び	株式会社サイエンスエンタテ イメント チャーリー西村	70
11	物を使った遊び	探究心が深まる保育 ～子どもと保育者が共に楽しむ図鑑・科 学絵本の活用方法～	白梅学園大学 教授 仲本美央	45
12	物を使った遊び	絵かきうたが育てるもの	幼児造形指導・プランナー 宮地明子	75
13	物を使った遊び	子どもと楽しむ製作アイデア	造形・絵本作家 いしかわみりこ	75

□ 研修分野 (全7分野対応) □

- ①乳児保育 ②幼児教育 ③障害児保育 ④食育・アレルギー対応
⑤保健衛生・安全対策 ⑥保護者支援・子育て支援 ⑦マネジメント※

※⑦マネジメントは副主任保育士（中核リーダー）以外の方は処遇改善等加算対象外となりますのでご注意ください

※ 幼稚園様の場合、「乳児保育」分野は処遇改善等加算対象外となりますのでご注意ください。詳細は各自自治体へお問い合わせください

◇ 受講の 5 STEP ◇

1



申込ページへ
アクセス

※研修システム「manaable」へ
ご登録が必要です。

2



希望の分野の
研修を申込

3



e ラーニング
(動画視聴)
+
課題提出

4



Zoom
ライブ研修
+
課題提出

5



修了証発行！
(データ)

※3月末発行予定

* 資料のダウンロード方法 *

- ①研修詳細ページより「受講する」をクリック
- ②「セミナー概要」に青字で表示されているテキストをクリック

* 対象者 *

東京都 受講料免除の
対象者について詳しくはこちら▽



* 修了証のダウンロード方法 *

- ①manaable のマイページにログイン
- ②ホームの自分の研修をクリック
- ③該当の研修名をクリックし
研修詳細画面へ
- ④「申込内容の確認」ボタンをクリック
- ⑤「申込内容の確認」画面下部の
修了証 URL をコピー
- ⑥ブラウザのアドレスバー（検索欄）に
URL を貼り付け、キーボードの
「Enter」を押して検索
- ⑦修了証が表示されますので、
画面上のメニューよりダウンロードや
印刷が可能です

【研修指定機関】



一般社団法人
フレーベル子育ちラボ

【研修委託先】

フレーベル館

フレーベル館は一般社団法人フレーベル子育ちラボより研修委託を請けています。

お問い合わせは▷ seminar@froebe-kan.co.jp

03-5395-6637

株式会社フレーベル館
東京都文京区本駒込6-14-9



一般社団法人

フレーベル子育ちラボ

令和 8 年度
東京都

保育士等

キャリアアップ研修 受付スタート！

対象者※は
受講無料！



※東京都保育士等キャリアアップ
研修における受講料免除の対象者

完全
オンライン



一流の
講師陣！



※講師一例

約12時間

スキマ時間でいつでも受講！
e ラーニング（動画視聴）

約3時間

グループ討議・演習で学びを深める
Zoom ライブ研修

乳児保育

A コース 申込締切 1/5
e ラーニング ⇒ 9/1 ~ 1/8
Zoom ライブ研修 ⇒ 1/18 (月)

B コース 申込締切 2/4
e ラーニング ⇒ 9/1 ~ 2/7
Zoom ライブ研修 ⇒ 2/15 (月)

保健衛生・安全対策

A コース 申込締切 1/11
e ラーニング ⇒ 9/1 ~ 1/14
Zoom ライブ研修 ⇒ 1/22 (金)

B コース 申込締切 2/15
e ラーニング ⇒ 9/1 ~ 2/18
Zoom ライブ研修 ⇒ 2/26 (金)

幼児教育

A コース 申込締切 12/22
e ラーニング ⇒ 9/1 ~ 12/25
Zoom ライブ研修 ⇒ 1/6 (水)

B コース 申込締切 2/14
e ラーニング ⇒ 9/1 ~ 2/17
Zoom ライブ研修 ⇒ 2/25 (木)

保護者支援・子育て支援

A コース 申込締切 1/17
e ラーニング ⇒ 9/1 ~ 1/20
Zoom ライブ研修 ⇒ 1/28 (木)

B コース 申込締切 2/7
e ラーニング ⇒ 9/1 ~ 2/10
Zoom ライブ研修 ⇒ 2/18 (木)

障害児保育

A コース 申込締切 1/22
e ラーニング ⇒ 9/1 ~ 1/25
Zoom ライブ研修 ⇒ 2/5 (金)

B コース 申込締切 1/28
e ラーニング ⇒ 9/1 ~ 1/31
Zoom ライブ研修 ⇒ 2/9 (火)

マネジメント

A コース 申込締切 1/22
e ラーニング ⇒ 9/1 ~ 1/25
Zoom ライブ研修 ⇒ 2/2 (火)

B コース 申込締切 2/6
e ラーニング ⇒ 9/1 ~ 2/9
Zoom ライブ研修 ⇒ 2/17 (水)

食育・アレルギー対応

A コース 申込締切 1/10
e ラーニング ⇒ 9/1 ~ 1/13
Zoom ライブ研修 ⇒ 1/21 (木)

B コース 申込締切 2/8
e ラーニング ⇒ 9/1 ~ 2/11
Zoom ライブ研修 ⇒ 2/19 (金)

定員：各コース 41 名

Zoom ライブ研修時間：

13:15 ~ 16:50 予定（休憩含む）

フレーベル子育ちラボ

お申込み・詳細は
こちら▷



フレーベル館

東京都 令和 8 年度 研修カリキュラム

実績豊富な一流の講師陣による充実したカリキュラムです！

乳児保育

	研修項目	具体的な研修内容	研修講師 (所属・職・氏名)
1	乳児保育の意義	乳児保育の意義	東京家政学院大学教授 和田美香
2	乳児保育の環境	0・1・2歳児の感性を育む楽しい造形あそび	東京家政大学教授 保坂 遼
3	乳児保育の環境	乳児の保育実践（環境について）	保育SoWラボ代表 井桁容子
4	乳児保育の環境	乳児保育の環境づくり	東京家政大学教授 野口隆子
5	乳児への適切な関わり	乳児の保育実践（人との関わりについて）	保育SoWラボ代表 井桁容子
6	乳児への適切な関わり	主体性を育む 低年齢児の保育	鎌倉女子大学短期大学部教授 實川雅子
7	乳児への適切な関わり	0・1・2歳児の保育のきほん2～こころの育ち編～	保育SoWラボ代表 井桁容子
8	乳児の発達に応じた保育内容	乳児の発達を踏まえた関わり方	鎌倉女子大学准教授 浅井拓久也
9	乳児の発達に応じた保育内容	乳児保育における「言葉」～多様な人や物と関わりながら育む言葉～	東京家政大学教授 菅井洋子
10	乳児保育の指導計画、記録及び評価	乳児保育の指導計画、記録及び評価	東京家政学院大学教授 和田美香
11	ZOOM ライブ研修 グループ討議・演習		東京家政学院大学教授 和田美香

幼児教育

	研修項目	具体的な研修内容	研修講師 (所属・職・氏名)
1	幼児教育の意義	子ども主体の保育について～子ども理解の視点より考える～	大阪総合保育大学学長 大方美香
2	幼児教育の環境	探究を引き出す場づくり	大阪総合保育大学特任教授 宮里曉美
3	幼児教育の環境	子どもの遊びが深まる環境構成について	白梅学園大学准教授 宮田まり子
4	幼児教育の環境	砂遊びから見る子どもの発達と保育環境	同志社女子大学名誉教授 笠間浩幸
5	幼児教育の環境	子どもが「やってみたい」と思える環境とは？～遊び込める環境を保障するために～	明治学院大学教授 松寄洋子
6	幼児の発達に応じた保育内容	遊びの重要性と子どもの仲間関係～「おんじ」を通して考える～	千葉大学大学院教授 砂上史子
7	幼児教育の指導計画、記録及び評価	保育記録の書き方・生かし方～質の高い保育実践のために～	共立女子大学教授 田代幸代
8	小学校との接続	安心と挑戦の循環を園から学校へ～幼保小の接続・架け橋を通してわくわくする園と学校を実現する～	白梅学園大学名誉教授 無藤隆
9	ZOOM ライブ研修 グループ討議・演習		玉川大学教授 田澤里喜

障害児保育

	研修項目	具体的な研修内容	研修講師 (所属・職・氏名)
1	障害の理解	共生社会の担い手を育む保育へ（インクルーシブな保育に向けて大切にしたい思いと考えていきたい視点）	共立女子大学教授 広瀬由紀
2	障害の理解	紅色の特性理解と支援～発達の多様性を知り、尊重する～	明星大学教授 星山麻木
3	障害の理解	アタッチメントの個人差とその背景～正しい理解と保育者にできること～	東京大学大学院教授 遠藤利彦
4	障害児保育の環境	実践事例から読み解く、子ども一人ひとりが輝く 保育とは（インクルーシブ保育がもたらす未来）	渋谷区子ども発達相談センターチーフアドバイザー 市川宗緒子
5	障害児の発達の援助	発達障害のある子どもの理解と支援Ⅰ	白梅学園大学教授 仲本美央
6	障害児の発達の援助	多様なこどもたちを感覚統合の視点から理解する ～その子らしい参加を支える～	株式会社ここん代表取締役・作業療法士 定金雅子
7	家庭及び関係機関との連携	特別支援教育の視点を活かした地域の専門機関との連携および 個別の指導計画の作成	星槎大学大学院教授 阿部利彦
8	家庭及び関係機関との連携	特別支援教育の視点を活かした地域・教育委員会・小学校などの連携	星槎大学大学院教授 阿部利彦
9	障害児保育の指導計画、記録、及び評価	多様な子どもたちとともに保育する～一人ひとりの学びを評価するには～	香川大学准教授 松井剛太
10	ZOOM ライブ研修 グループ討議・演習		星槎大学大学院教授 阿部利彦

食育・アレルギー対応

	研修項目	具体的な研修内容	研修講師 (所属・職・氏名)
1	栄養に関する基礎知識	栄養の基本的概念・栄養素の種類と機能について	和洋女子大学准教授 池谷真梨子
2	栄養に関する基礎知識	献立作成・衛生管理の基本等について	和洋女子大学准教授 池谷真梨子
3	食育計画の作成と活用	発達を踏まえた食事の提供について	和洋女子大学准教授 池谷真梨子
4	食育計画の作成と活用	食を通した保護者への支援、好き嫌いへの対応等について	和洋女子大学准教授 池谷真梨子
5	食育計画の作成と活用	食事場面での保育者の関わり・環境構成など	白梅学園大学教授 林薫
6	食育計画の作成と活用	お口の発達から考える 乳幼児の食事・心身の発達	神奈川歯科大学特任教授 木本茂成
7	アレルギー疾患の理解	アレルギーに関する基礎知識について	昭和大学医学部小児科学講座 長谷川実穂
8	アレルギー疾患の理解	除去する食物に関する考え方等について	昭和大学医学部小児科学講座 長谷川実穂
9	児童福祉施設等における食事の提供ガイド	令和7年9月策定「児童福祉施設等における食事の提供ガイド」のポイント	聖徳大学教授 嵯川厚有
10	保育所におけるアレルギー対応ガイドライン	アレルギーに関する事故予防対策、事故発生時の対応	昭和大学医学部小児科学講座 長谷川実穂
11	ZOOM ライブ研修 グループ討議・演習		和洋女子大学准教授 池谷真梨子

保健衛生・安全対策

	研修項目	具体的な研修内容	研修講師 (所属・職・氏名)
1	保健計画の作成と活用	保健計画の作成と活用	東京未来大学専任講師 鳥海弘子
2	事故防止及び健康安全管理	子ども主体の保育と安全（幼児教育・保育でいちばん大切なことは子どもの命を守ること）	駒沢女子短期大学教授 猪熊弘子
3	事故防止及び健康安全管理	子ども主体の保育と安全（死亡事故・重大事故を防ぐために、もう一度基本に立ち返ろう）	駒沢女子短期大学教授 猪熊弘子
4	事故防止及び健康安全管理	子ども主体の保育と安全（大きなケガはどこで起きている？～治療に3日以上かかるケガ等への対応）	駒沢女子短期大学教授 猪熊弘子
5	事故防止及び健康安全管理	子ども主体の保育と安全（「組織」で事故を防ぐ！職員自ら考え、動く、動ける職場に！）	駒沢女子短期大学教授 猪熊弘子
6	事故防止及び健康安全管理	小児科の先生に学ぶ、知っておくべき子どもに対する応急処置と予防（怪我・病気・事故）	佐久総合病院佐久医療センター小児科医長 坂本昌彦
7	事故防止及び健康安全管理	子どもの急変時の対応のポイント	白梅学園大学名誉教授・小児科医 小林美由紀
8	事故防止及び健康安全管理	安全な保育園は未来への架け橋	NPO法人Safe Kids Japan理事長 大野美喜子
9	保育所における感染症対策ガイドライン	園における感染症対策ガイドライン	東京未来大学専任講師 鳥海弘子
10	保育の場において血液を介して感染する病気を防止するためのガイドライン	保育の場において血液を介して感染する病気を防止するためのガイドライン	東京未来大学専任講師 鳥海弘子
11	教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン	子ども主体の保育と安全（「死を招いた保育」～見失い事故事例から考える）	駒沢女子短期大学教授 猪熊弘子
12	教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン	子ども主体の保育と安全（安全な保育をするための具体的な方法）	駒沢女子短期大学教授 猪熊弘子
13	教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン	保育所等の職員による虐待に関する通報義務等について～児童福祉法の改正と新たなガイドラインの基礎理解～	大阪教育大学教授 小崎恭弘
14	ZOOM ライブ研修 グループ討議・演習		東京未来大学専任講師 鳥海弘子

保護者支援・子育て支援

	研修項目	具体的な研修内容	研修講師 (所属・職・氏名)
1	保護者支援・子育て支援の意義	つながりをはくくむ場づくり～保護者支援・子育て支援～	八王子保育専門学院専任講師 田尻さやか
2	保護者支援・子育て支援の意義	いまどきの保護者対応～背景の理解と支援の本質～	武庫川女子大学教授 倉石哲也
3	保護者に対する相談援助	保護者対応の質を高める考え方・行動	鎌倉女子大学准教授 浅井拓久也
4	保護者に対する相談援助	明日からすぐに使える 保護者との信頼関係を築く連絡帳の書き方	鎌倉女子大学准教授 浅井拓久也
5	地域における子育て支援	今求められている子育て支援～これからの子育て支援～	大阪教育大学教授 小崎恭弘
6	地域における子育て支援	子育て支援につながる子どもの発達に即した関わり方	鎌倉女子大学准教授 浅井拓久也
7	虐待予防	虐待の事例分析と記録方法	鎌倉女子大学准教授 浅井拓久也
8	虐待予防	虐待・ネグレクトはなぜ起きる？苦しむ家庭を救うには	東洋英和女学院大学教授 久保田まり
9	関係機関との連携・地域資源の活用	配慮を必要とする保護者を支援するポイント～障害のある子を育てる保護者・外国籍の保護者などの多様な保護者～	国学院大学准教授 西村実穂
10	関係機関との連携・地域資源の活用	子育て支援における地域資源の活用	鎌倉女子大学准教授 浅井拓久也
11	ZOOM ライブ研修 グループ討議・演習		鎌倉女子大学准教授 浅井拓久也

マネジメント

	研修項目	具体的な研修内容	研修講師 (所属・職・氏名)
1	マネジメントの理解	地域づくりの中心として園が担える役割（多様化するニーズに応える多機能化する保育施設）	学校法人裕沼学園理事長／こども家庭庁「幼児期までのこどもの育ち部会」委員 猪沼平太郎
2	マネジメントの理解	現場で役立つ法的視点とリスクマネジメント	木元有香法律事務所代表弁護士・保育教諭 木元有香
3	リーダーシップ	職員同士の対話を促進する保育現場のファシリテーション	東京立正短期大学准教授 鈴木健史
4	リーダーシップ	心に伝わるコミュニケーション～子どもの主体性・大人同士のかわり方を考える～	特定非営利活動法人親子コミュニケーションラボ代表理事 天野ひかり
5	組織目標の設定	保育者のための問題解決力	株式会社リール代表 藤ちょんす
6	人材育成	気づきを共有し保育の質を高めるマネジメント	洗足こども短期大学教授 井上眞理子
7	人材育成	「こども性暴力防止法」施行前に備える～園が今から準備すべきポイント～	国のコンサルタント、特定社会保険労務士 安岡知子
8	働きやすい環境づくり	職員関係におけるセルフケアと対話の技術（嫌な気持ちに対応する）	株式会社ビスタ代表取締役 榎重大祐
9	働きやすい環境づくり	職員関係におけるセルフケアと対話の技術（相手と対等に向き合う）	セルフケア・ラーニング代表・精神保健福祉士・心理カウンセラー 中里弘樹
10	働きやすい環境づくり	安心して働ける職場環境のためのハラスメント対策（予防から対策まで）	株式会社鳥飼コンサルティンググループ取締役 鳥飼胆雄
11	ZOOM ライブ研修 グループ討議・演習		白梅学園大学教授 師岡章

受講にあたっての注意事項

本人確認

- ◎受講をするうえで顔認証が必要になります。
- ◎お申し込みの際は、お申し込みページより顔写真の撮影と、顔写真付きの本人確認書類（運転免許証、パスポートなど）のアップロードをお願いします。
- ◎研修時間中は常にカメラをオンにし、ご本人の顔が画面内にしっかり映る状態を維持してください。

機材について

- ◎ご受講の際は、パソコン（Windows / Mac）での参加・視聴を推奨いたします。
※スマートフォンやタブレットでも参加・視聴は可能ですが、画面共有された資料の文字など見えづらい場合がございます。
- ※特にZoomライブ研修ではグループワーク時に一部機能が制限される場合がありますため、パソコンでの参加をお願いいたします。
- ◎Zoomライブ研修の受講には、「Webカメラ」「マイク」「スピーカー（またはイヤホン／ヘッドセット）」が必須です。事前に機器が正常に作動するか、ご自身でご確認をお願いいたします。
- ◎Zoomライブ研修時には、グループワークを円滑に行うため、周囲のスペースを確保し、極力静かな環境での受講をお願いいたします。
- ◎長時間の映像・音声通信を行うため、光回線等の有線LAN、または安定したWi-Fi環境等での受講をお願いいたします。
- ※受講者様の通信トラブル等により、長時間接続が途切れた場合は、欠席扱いとなる場合がございますのでご注意ください。